

SUMIDA

人と人が つながるまち



すみだスタッフプライド チャレンジ



CHALLENGE

わたしたちと一緒に 人と人がつながる まちづくりに挑戦しませんか？

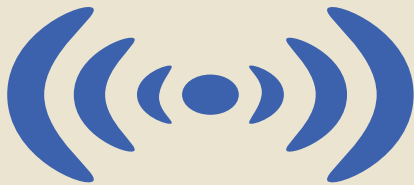
墨田区のシティプロモーションのテーマは、「人と人とのつながり」。暮らす人、働く人、訪れる人に、つながりの温かさを魅力に感じてもらい、地域のカへと変えていくことがねらいです。

スタッフプライドチャレンジは、職員一人ひとりも墨田区の情報発信の主役として、分かりやすく正確な情報が受け手に伝わるように、自ら行動しようという試みです。

あなたも、クリエイティブな発想とチャレンジ精神を、すみだで活かしてみませんか。

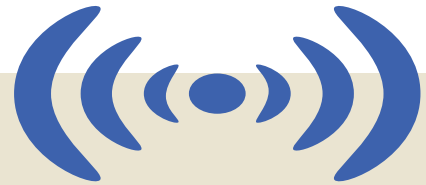
スタッフプライド チャレンジ

事業そのものを
ステキ化する



事業そのものを受け手の目線で見直します。どうすれば目標にしたターゲットにメッセージが届く魅力ある事業にできるか、アイデアを出します。

見せ方を変える



伝えたいことを盛り込みがちになるチラシやポスター。行政ならではの表現の分かりづらさも課題です。徹底的に受け手の目線で、コピーやデザインを見直します。

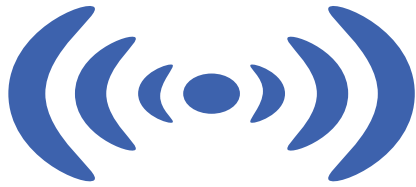
伝える力を研くことから 始めました

事業をより魅力的に見せることにチャレンジする担当職員に、広報広聴担当が伴走してサポートします。年間計画の立案、区有媒体の複合的な活用、パブリシティ獲得、興味を引く伝え方になるための工夫などの支援をします。

「伝える」から 「伝わる」へ

「受け手目線」が、魅力ある情報発信への見直しのポイントです。伝えるべきことを盛り込んだからといって、受け手に届いているとは限りません。事業やイベントの企画からメディアによる情報発信、窓口対応にいたるまで、メッセージは届いているか、徹底的に受け手目線で考えます。

もっとう伝える



チラシ、ポスター、区報という定番メディアだけではなく、他の情報媒体も複合的に活用します。なかでもSNSを効果的に活用する方法を模索します。



つながる
墨田区

墨田区のシティプロモーションのロゴマーク。人と人とのつながりがテーマです。

地元クリエイターが プロモーションを サポート！

チャレンジする事業ごとに、地元で活躍するクリエイターがサポートします。コンセプトワークからコピーやデザインのコツをアドバイス。さらにSNSの活用をはじめ、地域とつなげるコラボレーションのアイデアを出し合います。



Kojima Shizu
小畠 志津さん
(にご蔵)
イラストレーター

Tojo Meri
東條 メリーさん
ウェブディレクター/
グラフィックデザイナー

Mihashi Miyako
三橋 美也子さん
有限会社 三井広告事務所
PRプランナー/プロデューサー

Furihata Takeshi
降旗 剛さん
株式会社FRAGS 代表取締役
アートディレクター

Mita Daisuke
三田 大介さん
有限会社モアナ企画 取締役
デザイナー/プロデューサー

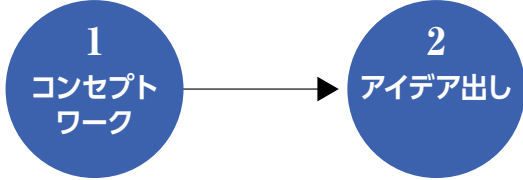
Suminaka Hiroshi
住中 浩史さん
美術家/カメラマン

Yoshizawa Yaeko
吉澤 弥重子さん
ひらがなネット株式会社 取締役
コピーライター

Miwa Asuka
三輪 明日香さん
女性クリエイターグループ
「Nicoli Graphics」 代表
グラフィックデザイナー

《1》

事業そのものをステキ化する



- 事業のねらいや具体的なターゲット、目標を明確にする
- 受け手目線で、課題や問題点を見直す

- 他の事業やイベントなどとのコラボレーションで魅力アップ!
- 地域で活動する団体や、アーティスト・クリエイターとのコラボレーションで魅力アップ!
- 既存の発想からの転換で魅力アップ!



▲新日フィルと地元アーティストとのコラボレーションによるPRパフォーマンス(すみだトリフォニーホール開館20周年事業/2017)

《2》

見せ方を変える



- 事業のねらいや具体的なターゲット、目標を明確にする
- 受け手目線で、課題や問題点を見直す

- 見る人を引きつけるキャッチコピーやデザインのアドバイス

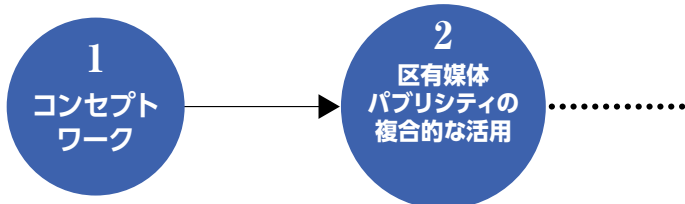
- 意図したことが、分かりやすく伝わるかどうか、受け手の目線でチェックする

▶受け手の共感を得られるようにペットの飼い主のマナーを啓発するポスター(狂犬病予防・動物愛護管理事業/2017)



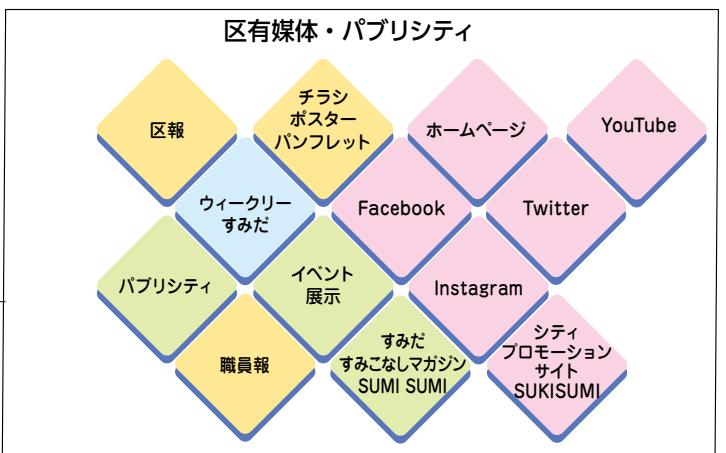
《3》

もっと伝える



- 事業のねらいや具体的なターゲット、目標を明確にする
- 受け手目線で、課題や問題点を見直す

- 紙媒体
- インターネット
- CATV
- その他





▲北斎漫画を題材にした市松人形（大江戸すみだ職人展／2018）

▶体験で職人との距離が縮まる



▲作る人、使う人、働く人の目線から「心のバリアフリー」を考えるイベント（心のバリアフリー育み事業／2019）



▲体験イベントでは、日本初6輪の車椅子を開発した町工場社長の思いが直接聞ける



▲若い世代が参加したくなるデザインになったポスター・チラシ（墨田区総合防災訓練／2019）



▲当日のプログラムにはスタンプラリーも



▲子育て世帯に伝わるデザインになった助成制度のチラシ（子育て世帯等定住促進事業／2018）



▲制度の説明も、強弱をつけたり表組を使って分かりやすいデザインに



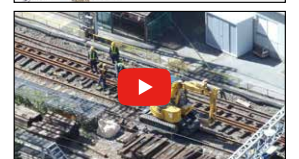
◀手の洗い方動画（食中毒予防啓発事業／2017）

▶パネル展（食中毒予防啓発事業／2018）

◀職員が手作りした食品衛生キャラクター「すみだこ」が活躍（食中毒予防啓発事業／2017～2019）



▲工事中の仮囲いが参加型のメディアに（東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）立体化事業／2018）



▲ホームページやYouTubeで工事のプロセスが分かる情報を提供

職人+江戸+北斎で すみだの文化を伝える



職人との距離を縮めて 職人文化を伝えたい

江戸時代から現代へと続くすみだの職人文化を、身近に感じてもらうことが「大江戸すみだ職人展」のねらいです。会場を、すみだ北斎美術館に移し、初めて来場する人や外国人にも親んでもらえるようなアイデアを盛り込みました。

サポートクリエイターからは、テーマ設定、作品展示のレイアウト、気軽に職人さんに話しかけられるアイデアなど、あらゆる面でアドバイスをいただきました。新たな展示の仕方や広報の工夫など、今後につながるきっかけになったと思います。



北斎漫画を題材にした市松人形などを展示して、美術館の来場者にPRした

デザイン思考で展示プランを見直し

距離を縮める
アイデア

分かりやすいテーマ設定

北斎の作品をモチーフにした作品づくり

職人の人となり伝わるパネル

すみだ北斎美術館からの誘導



北斎の小紋帳をモチーフにした作品



実演をする職人との距離を縮めるようパネルを作った



作品を使った体験は外国人との距離も縮めた

Message

熱意を伝えることから 始めました

私の仕事は、職人の皆さんが中心になってPRできるような場をつくる、コーディネーター的な立ち位置です。まず職人の皆さんがやりたいことや抱える課題を、課内のメンバーや関係者に分かりやすく伝えられるように計画書づくりに力を入れました。関わっていただく皆さんに、職人さんの想いを伝え、課題を共有することが大切と考えたからです。

「こうした方が良くなる」と思ったときには、まず伝えることから始めます。墨田区の魅力は、そんなときにいつでも協力してくれるいい雰囲気があるところだと思います。

文化芸術振興課 河村 亮 (入区7年目)

事務

大江戸すみだ職人展のほか、隅田川花火大会、国技館5000人の第九コンサートなど、文化行事の運営



土日のワークショップは子どもたちでにぎわった

ものづくりの視点でバリアフリーを考える



日本の住環境でも使い易い、6輪の電動車椅子を開発した斎藤さん（さいとう工房・社長）によるデモンストラーション。すみだ子どもPR大使が体験レポート



「もっと知りたい。ハンディキャップのこと」冊子

福祉×ものづくり、福祉×銭湯 気づくことから始める

墨田区では、東京2020大会の大会ビジョンのひとつである誰もが相互に尊重し支え合える共生社会の実現に向けて、3年前から「心のバリアフリー」の普及啓発に取り組んできました。この事業は、ハンディキャップのことやバリアフリーのことを、知ってもらうことがねらいです。

クリエイターに、効果的な参加者募集の方法や心のバリアフリーを醸成する具体的なアイデアを相談。バリアフリーに取り組む方々と体験ができたり、お話を聞けるイベントを企画しました。

心のバリアフリーを育むための視点

コンセプトワーク

ものづくりの視点で考える

利用する障害者の視点で考える

働く障害者の視点で考える

障害者との接点を考える



さまざまな視点でハンディキャップのことが分かるイベントを企画

Message

すみだのものづくりのバイタリティに触れました

クリエイターからは、作っている人、働く人、使う人…、いろいろな視点をもってとことん考えることに刺激をもらいました。デザインは見た目を考えるだけではないですね。

電動車椅子を製作している工房にも邪魔して、社長さんのものづくりへのバイタリティに触れることができました。私の前職はアパレル業界で生地仕入れから販売までの仕事でしたので、ものづくりに関われるチャンスはうれしかったです。

オリンピック・パラリンピック準備室
関 聖矢 (入区2年目)

事務

東京2020大会の気運醸成に向けた事業や、大会に向けた区のボランティア運営等



サポートクリエイター相談会

見せ方
を変える

防災訓練から BOUSAI CHALLENGEへ



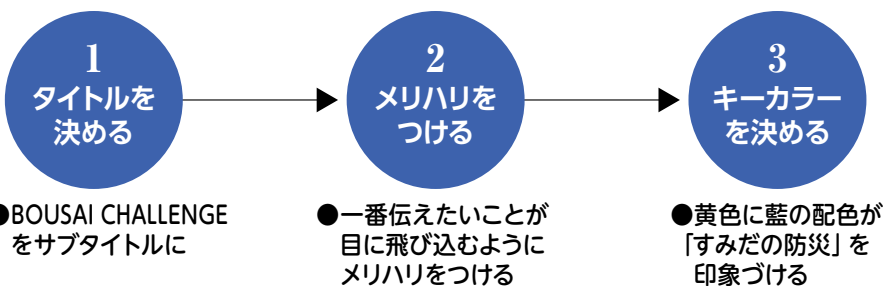
訓練当日はたくさんの親子づれでにぎわった

親子連れがわくわくする 防災の「フェス」にしたい！

地域力日本一を示すために防災訓練で何ができるかを考えました。長年にわたって積み上げて来た総合防災訓練の本質は継承しながら、子育て世代のファミリーに来て欲しいということが課題です。まずはサポートクリエイターと一緒に、名称を考えました。

防災は自分の命を守ることが第一優先。一步踏み出してチャレンジして欲しいという思いを込めて、「BOUSAI CHALLENGE」というサブタイトルを付けました。

親子で出かけたくなるデザイン



BEFORE
2017年版



2年前のチラシ。風景写真の上に袋文字は行政デザインの定番。オシャレじゃないので若い人を惹き付けられない。

AFTER
2019年版



黄色いチラシを見れば「すみだの防災」と連想ができるような、インパクトのある黄色にした。

目玉の水害VR・AR体験などは、写真入りで目立つレイアウトにした。

Message

地域防災をリードする 防災の仕事にチャレンジ！

墨田区の魅力は人と人とのつながりが強いことだと思います。総合防災訓練でも、防災関係機関、町会や自治会、防災関係団体、医師会など、いろいろな団体が協力し合っています。実際の災害のときにも、このつながりが大きな力になると考えています。

防災の仕事は、まさに命を守る仕事なので責任感とやりがいがあります。ぜひ、一緒にチャレンジしましょう！

防災課 土川翔平 (入区7年目)

事務

総合防災訓練の実施、要配慮者対策、災害情報管理システムの構築、防災士の育成など



親子連れを呼び込みたいなら、「食べるものが欲しいね」と言うサポートクリエイター三橋美也子さん／三輪明日香さん



見せ方
を変える

福祉作業所の仕事を「見える化」



「私たちの仕事を紹介します」展
福祉作業所ごとに、得意な仕事、受注可能な作業量と時間、実績が分かる

福祉作業所15か所のプロモーションで 受注増をねらいたい！

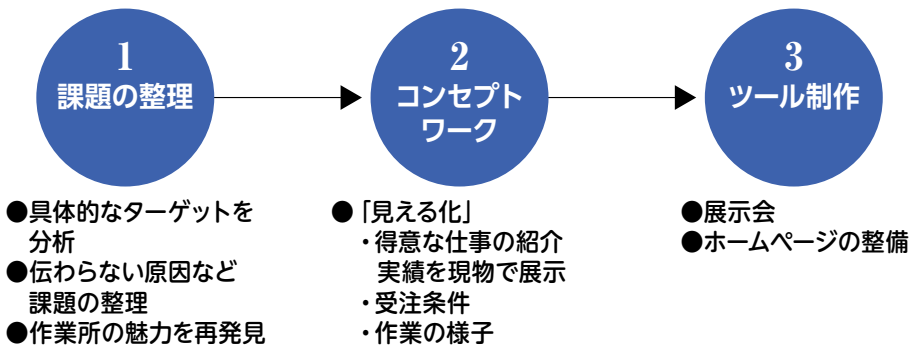
福祉作業所の仕事には、自主生産品の製作・販売と、簡易印刷や商品の箱詰めなどの軽作業の受注とがあります。5年前から、魅力ある自主生産品を地元クリエイターと創る「すみのわ※」のプロジェクトにも取り組んできましたが、受注には、なかなかつながらないのが悩みでした。

これまでは区内に15か所ある作業所ごとバラバラに売り込みをしていたので、発注する側もどこに頼めばいいのかが分かりづらいという課題がありました。クリエイターからの「見える化してはどうでしょう」というアドバイスを受けて、作業所ごとにどんな仕事得意でどんな実績があるかを分かる展示にしました。



展示会に関わった地元クリエイターも、説明スタッフとしてサポート

「見える化」のプロセス



実績を現物で展示

※福祉プロジェクト「すみのわ」

地域の工場から提供された端材などを使い、魅力ある自主生産商品づくりにつなげるプロジェクト。5年ほど前から始まり、地元のクリエイターと障害がある方がいっしょに創造性のある仕事を生み出している。



Message

住民や企業の方々とともに 知恵と汗を出して仕事ができます

展示を見ていただいた企業の経営者から、「福祉作業所は私たち中小企業のパートナーと感じた」、「ビジネスマッチングできる商談スペースがあるととっても良かった」というご意見をいただき、大きな手応えを感じました。

墨田区の仕事は、住民や企業の方々とともに協働して仕事を成し遂げる機会が多いです。職員、住民、企業とともに知恵と汗を出していっしょになって仕事ができる、「墨田区ここにあり！」の魅力いっぱいのもちです。



すみだふれあいセンター
山本雅隆 (入区31年目)

事務

すみだふれあいセンター所長。保育園、高齢者住宅、福祉作業所等が一体となった複合施設であるセンターの総合調整をしている。

通る人をひき付けるデザインに挑戦



食中毒予防のたいせつさ、もっと多くの人に伝えたい！

食中毒予防の危険やポイントを普及啓発することが、私たち食品衛生担当の大きな仕事です。ただ、PRすることが得意ではないので、もっとうまい見せ方はないか、もっとアピールできないか、サポートクリエイターに相談しました。

講座のチラシやPRグッズについて具体的なアドバイスをいただきました。今年度は、特にパネル展示のレイアウトや見せ方を大きく変えることにチャレンジしました。会場の庁舎ロビーで、通り過ぎる人をいかに引きつけて、興味をもってもらえるかが鍵になります。



「デザインにメリハリをつけることがパネル展示のこつ。伝えたいことをいっぱい盛り込んでも伝わりません。」とアドバイスするサポートクリエイターの住中 浩史さん/吉澤 弥重子さん

デザイン思考で展示を見直すと…



だれのために？
何のために？

一番伝えたいことは？
メリハリをつける

表組、図解…
見せ方を変える



立ち寄ってみたいくなる展示レイアウトに



食品衛生かるた



「すみだこ」といっしょに手洗い動画



手作りのチラシ類もシンプルなデザインに变身

Message

いろいろな方々の助けがあってこそその安全安心

飲食店や食品関連事業者の現場に出かけることも多く、墨田区では気さくに声をかけていただけます。店内の配置や環境の作り方の相談も受けたりするので、常に新しい知識の勉強が欠かせません。信頼関係が大切で、変えた方がよいと思える部分は、どんどん変えていくこともたいせつです。

ただ、自分一人のできることは限られているので、それを認めてくれる風土と、職場の方々の助けがあってこそと思います。さらに、クリエイターからのアドバイスが後押ししてくれるのも、この事業の魅力です。

生活衛生課 早川加奈 (入区13年目)

衛生監視

食中毒予防の普及啓発、飲食店の営業許可、食品関連事業者への立ち入り調査などがおこな仕事



工事中の仮囲いを参加型メディアに



押上保育園の園児たちによる絵画作品の入った仮囲いを設置

鉄道の立体化のPRで新たなまちづくりの気運を高めたい

東武鉄道伊勢崎線とうきょうスカイツリー駅付近では、まちを分断する線路を高架化して踏切の解消を行う連続立体交差事業を墨田区が行っています。令和6年度末(2025年)まで長期間続き、周辺のまちづくり気運を高めることも期待して、工事現場の仮囲いや区のSNSを活用した事業や工事のPRに力を入れています。

平成30年度はクリエイターと相談して地域の保育園に協力いただき、仮囲いを園児のイラストで彩りました。今後も、区民や庁内外の関係者と連携して、クリエイティブな発想を取り入れた事業PRをしていきたいです。



道路を利用する人の目線でアイデア出し

まちづくりの機運を高める工事中のコミュニケーションアイデア

関心をもってもらいたいアイデア

仮囲いを参加型メディアに

イベント（見学会）の企画、SNSの活用

鉄道ファン向けの情報発信



ホームページを構築し、定期的なSNSでの情報発信に取り組んでいます



鉄道ファンにも関心の高い、工事のプロセスが分かる動画をYouTubeで配信



平成30年度事業記録動画



クリエイターと相談してレイアウトを修正 事業地周辺の工事仮囲いした工事説明パネル



Message

幅広い業務に携わられて達成感があります！

技術職は、自身の携わった施設がまちに残るやりがいがあります。さらに墨田区では、ソフトの面やクリエイティブな業務にも携わることができるので、幅広い業務を経験し、アイデアを発揮する機会があります。

今回、保育園の先生に一生懸命アイデアを出していただき、完成した絵の手形に手を合わせる子どもたちの姿を見て、とても微笑ましい気持ちになりました。これからの公共工事は地域との協働の視点、人とのつながりが重要で、非常にやりがいがあります。一緒にまちを盛り上げましょう！



立体化推進課 小田千尋（入区8年目）

土木造園

高架化事業の全般を担当し、鉄道事業者や国、都、地元などとの協議・調整を行いつつ、ホームページ構築、SNS投稿も

すみだの魅力がもっと分かる！ 情報サイトをご紹介します

墨田区公式 ホームページ



墨田区公式SNS

YouTube



墨田区公式
チャンネル

Instagram



sumida_official

twitter



sumidaku_kouhou

facebook



墨田区役所
ページ

すみだの魅力発信サイト

SUKI SUMI



区のイベントやまちの話題などのタイムリーな情報をお届けする、すみだの魅力発信サイトです。学芸人「葛飾ふとめぎよるめ」の直撃レポート「WATABI」や、日常のシーンを動画でお届けする「すみだチャンネル」は必見。



小学生大使が大活躍！

すみだ 子どもPR大使



すみだの魅力を発信する特命大使です。令和元年8月に新たに10名が加わり、21名の大使が、すみだのまちを元気レポート。レポートの内容は、公式facebookページで見られます。



すみだ・すみこなしマガジン

SUMI SUMI



墨田区に転入されてきた方や、子育てパパやママ向けの情報マガジン。地域のコミュニティ情報、おでかけ情報、まちの制度が分かる情報など、すみだ住みこなしのヒントがいっぱい。バックナンバーもPDFで見られます。



観光ガイドブック片手にまち歩き すみだ観光まる得 ブック



歴史・文化・名所・食・イベントなど、すみだの魅力を紹介したまち歩き&グルメガイドです。ウェブ版でも公開中で、観光客をはじめとした多くの方から好評を博しています。飲食店で使えるお得なクーポンも！



すみだの企業を紹介

PICK UP企業



「ものづくりのまちすみだ」の様々な企業を毎月紹介しています。今、注目の企業・特色ある企業に密着取材！職人が動く工場の現場や各企業の商品・製品に対する想いなど、まちの仕事の現場がわかります。動画でも企業を紹介！



#写真でつながる墨田区

墨田区フォトコンテスト



区内の風景や人、イベントなど区の魅力をインスタグラム上で募集するフォトコンテストを実施しました。「#写真でつながる墨田区」を検索すると、多くの写真を見ることができます。さまざまな角度から見たすみだの魅力をぜひご覧ください。

